

日本NIE学会会報 第3号

日本NIE学会事務局

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-2
国立大学法人横浜国立大学教育人間科学部
影山清四郎研究室内
TEL/FAX 045-339-3433
E-mail kseishiro@edhs.ynu.ac.jp

第3回大会開催案内と自由研究発表の募集

日本NIE学会第3回大会を以下の要領で開催することになりました。多数の皆様のご参加と研究発表の申し込みをお待ちいたしております。

なお、第3回大会では、新たな試みとして自由にNIEに関する情報交換ができる「交流タイム」を実施いたします。こちらにも、ぜひご参加ください。

(日本NIE学会会長 影山清四郎・第3回大会実行委員長 高木まさき)

- 1 期 日 平成18年11月18日(土)～19日(日)
- 2 会 場 横浜国立大学教育人間科学部[横浜市保土ヶ谷区常盤台79番2号](予定)
アクセスガイド http://www.ynu.ac.jp/access/acc_3.html
【相模鉄道和田町駅より】 徒歩20分
【横浜駅西口より】 バス15～20分/タクシー10～15分(正門まで約1400円)
- 3 参加費 大会 2000円(学生・院生1000円)
懇親会 4000円(予定)
- 4 後 援 神奈川県(予定)・横浜市(予定)・川崎市(予定)・神奈川新聞社(予定)

5 プログラム

(1) 11月18日(土)

12:00 13:00 14:00 15:00 15:15 17:15 17:45 18:00 19:30

理事会	総会	講演		課題研究	交流タイム		懇親会
-----	----	----	--	------	-------	--	-----

【講演】 「特派員の見た日本の新聞」(仮題)

ノリミツ・オオニシ氏 (ニューヨーク・タイムズ東京支局長)

インタビュアー 秋山 理砂(神奈川新聞社)

【課題研究】

「学校外に広がる新聞活用」

司会者 谷田部玲生（国立教育政策研究所）

高辻 清敏（北海道新聞社）

提案者 林 明夫（開倫塾）

岸尾 祐二（聖心女子学院初等科）

足立 旬子（毎日新聞）

「日本型NIEの理論化をめざして（1）

～新聞社におけるNIE実践の分析を通して～」（仮題）

司会者 小原 友行（広島大学）

提案者 鎌田 良一（神奈川新聞社）

臼井 淑子（横須賀市立鴨居小学校）

岡田誠太郎（読売新聞）

豊嶋 啓司（福岡教育大学）

（2）11月19日（日）

9:00 10:30 10:45 12:30

自由研究発表	シンポジウム
--------	--------

【シンポジウム】 「リテラシーを育てるNIE - 教育課程改革とNIE - 」

コーディネータ 影山清四郎（横浜国立大学）

阿部 昇（秋田大学）

パネリスト 田中 孝一（文部科学省）

府川源一郎（横浜国立大学）

有馬 進一（藤沢市立大庭中学校）

生田 孝至（新潟大学）

6 自由研究発表について

自由研究発表の発表者を募集いたします。発表内容は、NIEの実践報告や理論研究など、特に限定はありません。学会員であればどなたでも応募できます。発表時間は30分（発表20分＋質疑10分）を予定しています。

自由研究発表を希望される方は、氏名、所属、発表テーマを、8月15日（火）までに、メールまたはファクスでお申し込みください。

7 交流タイムについて

交流タイムは、大教室の中で、各新聞社等のNIEに関する取り組みの紹介、会員の方の情報交換等を自由に行う時間です。

交流タイムでの企画をお持ちの方は、氏名、所属、企画を、8月15日（火）までに、メールまたはファクスでお知らせください。なお、会場等の都合でお断りすることもありますので、ご了承ください。

8 発表要旨収録用原稿について

課題研究の提案者、シンポジウムのパネリスト、自由研究発表の発表者は、右頁の様式で発表要旨収録用原稿（1ページ）を作成し、プリントアウトした原稿を、9月30日（土）までに郵送してください。お送りいただいた原稿は、そのまま印刷いたします。

各委員会から

研究委員会

研究委員会は、2006年5月27日(土)に広島大学において開催され、2006年度は次のような研究課題に取り組んでいくことが了承された。

- (1) 新聞界、実践者、研究者(教育、ジャーナリズム)による「優れたNIE実践」の理論化を図るための基礎作業としてフレームづくりに着手
- (2) 各地域のプロジェクトチームによるNIE実践の教育的効果に関する実験・実証的研究(NIE理論に基づく単元計画・評価問題の開発、研究授業の実施、子どもたちの変容調査、結果に基づく理論・単元計画の吟味・修正)の推進とその交流会の開催
- (3) 新聞社におけるNIE実践の分析的研究(本年度研究大会の課題研究で発表)
- (4) 『NIE事典』出版に向けての構想・企画

(研究委員会委員長 小原友行)

機関誌発行委員会

学会誌創刊号発刊の御礼と第2号の原稿募集

皆様のお陰で、学会誌創刊号を本年3月に発行することができました。投稿して頂きました会員の皆様、そして論文査読に携わって頂きました常任理事の皆様、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

ご投稿頂いた論文総数は15篇ありましたが、査読を経て掲載した論文は、最終的に9篇となりました。論文としての体裁、原稿枚数、引用・参考文献等の形式面はもとより、内容面でも厳正、かつ、ていねいに査読をしていただき、それらの結果を受けて本委員会が最終的な掲載を決定しました。そのために、本委員会を都合4回開催いたしました。

本学会として初めての学会誌編集で、論文執筆のモデルとなる先行例がなく、投稿頂いた皆様には、論文執筆の形式等でなにかとご苦労をおかけしました。ひとまずこれでモデルを示すことができ、次号からはより安心してご投稿頂けるものと考えております。

また、今回、期せずして掲載に至らなかった方々も、次回以降のご投稿を改めてお願いしたく存じます。学会の本質は、どの学会であるにせよ、学会の規約に則って志を同じくする者が集い、意見や考えを率直に述べあい、また公表し合う機会を保障するところにあります。学会誌は、その重要な機会の一つであると心得ております。つきましては今後とも、会員の皆様のご投稿をお待ちしておりますので、どうぞ宜しく願いいたします。

なお、今回、機関誌発行委員会委員の所属に、一部誤記がありました。内野俊彦氏の所属は、正しくは福岡市立内浜中学校です。お詫び旁々、訂正をお願いいたします。

さて、次号、第2号の投稿締め切り日は、平成18年11月30日(必着)といたします。創刊号は、準備の都合で、12月半ばにしておりましたが、第2号からは、投稿・執筆要領に記しましたとおり、上記の期日に締め切り日を戻すことにいたします。

(機関誌発行委員会委員長 寺尾慎一)

運営委員会

第3回常任理事会(2006.03.21 大阪市立天王寺中学校)

1. 第3回学会について (企画委員会)
2. 平成17年度決算報告(案) (運営委員会)
3. 第2回学会の決算報告及び反省 (運営委員会)

4. 役員候補者および監事候補者選出細則(案) (運営委員会)
5. 学会員名簿および学会誌について (運営・機関誌発行委員会)

第4回運営委員会(2006.02.05 大阪教育大学天王寺キャンパス)

1. 第2回学会(総会)会計報告 ……第2回理事会で承認を受ける予定

〔 第2回日本NIE学会 収支報告 〕			
(収 入)		(支 出)	
参加者会費	168,500	会場費	24,750
		要項印刷代	78,750
		コピー、印刷代	15,000
新聞社広告費	150,000	昼食代	45,000
懇親会残額	63,211	事務用品	18,900
		アルバイト代	35,000
		準備委員交通費	80,000
		雑費	4,014
合 計	381,711	合 計	301,414

差引残高

$381,711 - 301,414 = 80,297$ (日本NIE学会近畿支部創立費に充当)

2. 会報アンケートについて

会報2号に掲載した第2回総会アンケート(P.8)について会員より異議の申し立てがあり、その対処について話し合った。引き続き第5回運営委員会で審議することになった。

3. 学会近畿地区結成について審議

第5回運営委員会(2006.03.05 大阪教育大学天王寺キャンパス)

1. 平成18年度事業計画(案)を審議
2. 平成18年度予算(案)を審議
3. 理事・監事候補者選別規定(案)を審議
4. 会員名簿配布について審議

(運営委員会委員長 枝元一三)

各委員会内規案

日本NIE学会では、学会規約にもとづき「企画」「研究」「機関誌発行」「運営」の四つの委員会をおいていますが、これまで各委員会の内規が整備されていませんでした。そこで現在、次頁のような各委員会の内規案を作成しております。

今後、理事会での審議決定の後、第3回総会においてご報告させていただく予定です。

[参考] 日本NIE学会規約

第22条 本学会の活動を促進するために委員会をおくことができる。

各委員会の規則は別に定める。

企画委員会内規（案）

第1条（目的） この内規は、日本N I E学会規約第22条にもとづき、企画委員会（以下、委員会と略称）について必要な事項を定めることを目的とする。

第2条（任務） 委員会は、次の事項に関する活動を行う。

1. 大会・研究発表会の企画等
2. 前項のほか理事会がとくに付託した事項

第3条（委員） 委員長は常任理事の中から会長が委嘱する。また、委員長は若干名の定員を会員より委嘱する。以上はいずれも理事会の承認を必要とする。

第4条（任期） 委員長および委員の任期は、定期総会から2年後の定期総会までとする。ただし、再任をさまたげない。

第5条（改正） この内規の改正は、理事会の議を経て、総会に報告するものとする。

附記 この内規は2006年11月18日より実施する。

研究委員会内規（案）

第1条（目的） この内規は日本N I E学会規約第22条にもとづき、研究委員会（以下、委員会と略称）について必要な事項を定めることを目的とする。

第2条（任務） 委員会は、次の事項に関する活動を行う。

1. プロジェクト研究等の企画および実施
2. 研究会等の企画および実施
3. その他理事会が特に付託した事項

第3条（委員） 委員長は、常任理事の中から会長が委嘱する。また、委員長は、5～6名の委員を会員より委嘱する。以上は、いずれも理事会の承認を必要とする。

第4条（任期） 委員長および委員の任期は、定期総会から2年後の定期総会までとする。ただし、再任はさまたげない。

第5条（改正） この内規の改正は、理事会の議を経て総会に報告するものとする。

附則 この内規は2006年11月18日より実施する。

機関誌発行委員会内規（案）

第1条（目的） この内規は日本N I E学会規約第22条にもとづき、機関誌発行委員会（以下、委員会と略称）について必要な事項を定めることを目的とする。

第2条（任務） 委員会は、次の事項に関する活動を行う。

1. 会誌の編集に関する事項（論文の募集と受理、論文審査員の選定、審査の依頼と結果集約、論文採否の決定、英文校閲の依頼等）の立案、実施。なお、そのための編集規定と投稿・執筆要領は、別途、定める。
2. 学会誌の発行に関する事項（印刷、校正、ISSN日本センターへの完成誌送付等）の立案、実施
3. 各委員会との連絡調整
4. その他理事会が特に付託した事項

第3条（委員） 委員長は常任理事の中から会長が委嘱する。また、委員長は5～6名の委員を会員より委嘱する。以上はいずれも理事会の承認を必要とする。

第4条（任期） 委員長及び委員の任期は定期総会から2年後の定期総会までとする。但し再任はさまたげない。

第5条（改正） この内規の改正は理事会の議を経て総会に報告するものとする。

附則 この内規は2006年11月18日より実施する。

運営委員会内規（案）

- 第1条（目的） この内規は日本NIE学会規約第22条にもとづき、運営委員会（以下、委員会と略称）について必要な事項を定めることを目的とする。
- 第2条（任務） 委員会は、次の事項に関する活動を行う。
1. 日本NIE学会に関する庶務的事項（事業計画、予算、決算等）の立案、実施
 2. 会報の発行
 3. 会員管理
 4. 各委員会との連絡調整
 5. その他理事会が特に付託した事項
- 第3条（委員） 委員長は常任理事の中から会長が委嘱する。また、委員長は5～6名の委員を会員より委嘱する。以上はいずれも理事会の承認を必要とする。
- 第4条（任期） 委員長および委員の任期は定期総会から2年後の定期総会までとする。ただし再任はさまたげない。
- 第5条（改正） この内規の改正は理事会の議を経て総会に報告するものとする。
- 附則 この内規は2006年11月18日より実施する。

地区支部の活動

四国地区

平成18年6月24日（土）高松市にて、第2回日本NIE学会四国地区集会を開催いたしました。

当日、四国地域の日本NIE学会員及びNIE指定校など、約30名の参加があり、活発に意見交換を行いました。集会では、NIE実践校からの中間報告の後、“NIEの理論化～これから、NIEをどう取り組めばいいのか～”をテーマに協議を行いました。基調提案後、現在の取組が、理論ベースとどう関わっているのか真剣に考えるいい機会となったようです。

なお、協議以外に、朝日新聞高松支局記者による講話、また、新聞教育文化財団からも全国情勢について報告があり、盛りだくさんの集会となりました。

（香川大学教育学部 阪根健二）

会員名簿の追加・変更等

[追加]

中原 俊輔 （所属先電話番号）082-236-2142

[変更]

和泉 敬子 （所属）追手門学院大学

[訂正]

朝倉 淳 （自宅住所）東広島市高屋高美が丘6丁目6-9

田中 宏幸 （E-Mail アドレス）tanaka@post.ndsu.ac.jp

村山 正子 （自宅住所）〒194-0045 町田市南成瀬1-11-24

（所属住所）〒229-1116 相模原市清新8-5-1

[退会]

渡部 慶一

会報ニュース

日本新聞教育文化財団が法人会員に

5月17日のNIE委員会で日本新聞教育文化財団の当学会の法人会員加入が決まりました。これで法人会員は20社となりました。同財団の加入により新聞界や地域のNIE推進協議会との連携がますます深まることが期待されます。

学会役員および監事候補者の選出細案を検討中

常任理事会では来年度に迫った役員および監事候補者の選出細案を検討中で、次の第3回総会に提案するよう準備されています。細案によりますと、会員による選挙は来年7月ごろ実施、新役員は第4回総会で決定されるもようです。

ISSN番号を取得

当学会誌にISSN(国際標準逐次刊行物番号)が付与されることが決定し、5月12日国立国会図書館から連絡がありました。

ちなみに番号は

ISSN 1881-0314

です。学会誌は今後とも同図書館に保存されることとなります。

会報2号に会員よりご意見

先日発行した会報2号に会員より意見が寄せられました。会報2号8ページの「第2回学会アンケート」中の、

「大学の教員が若い中・高の教員に対するアドバイスはあたかなものであってほしい」という意見に対して、

「学会の場では各人平等、同等の立場で論議すべきであり、異議があればその場で意見を述べるべきである」

という意見をいただきました。今後の学会でもそうなることを期待したいと考えます。

学会費納入のお願い

平成18年度学会費(普通会員および法人会員)の納入を別紙振込み用紙(銀行振り込みの場合は東京三菱UFJ銀行の口座)でよろしくお願い申し上げます。

学会運営上なるべく7月中にお願い申し上げます。

普通会員 5,000円(学生は2,000円)

法人会員 50,000円

東京三菱UFJ銀行 大阪駅前支店

口座番号: 4518494

口座名義: 日本NIE学会 事務局長 枝元一三